

「平成23年度初任給等実態調査」結果報告書

平成23年12月
岡崎商工会議所

調査対象	対象企業数 市内主要事業所 320社
集計対象	有効回答の147社(回答率45.9%)
調査時期	平成23年11月
調査方法	郵送によるアンケート方式
その他	集計にあたっては、全て単純平均にて算出した。

< 概要 >

1. 初任給

【確定初任給】

大学卒「事務・販売」197,640円、「技術・生産」200,161円、業態別の金額差では「技術・生産」の短大卒が10,570円の差

平成23年3月学卒者の確定初任給を全業種でみると、大学卒では「事務・販売」が197,640円、「技術・生産」が200,161円、短大卒では「事務・販売」が177,776円、「技術・生産」が179,434円、また高校卒では「事務・販売」が163,049円、「技術・生産」が165,550円となっており、全ての学歴で「技術・生産」が「事務・販売」を上回る結果となった。

業態別でみると、大学卒は「事務・販売」「技術・生産」とともに、製造業が非製造業を上回ったが、逆に短大卒・高校卒は「事務・販売」「技術・生産」とともに、非製造業が製造業を上回る結果となった。特に「技術・生産」の短大卒では10,570円（製造業<非製造業）の差がみられた。

【見込初任給】

全体として前年金額を据え置く傾向続く

一方、平成24年3月学卒者の見込み初任給を全業種でみると、大学卒では「事務・販売」が197,184円、「技術・生産」が198,870円、短大卒では「事務・販売」が179,588円、「技術・生産」が179,304円、また高校卒では「事務・販売」が162,719円、「技術・生産」が165,327円となり、大学卒と高校卒では「技術・生産」が、短大卒では「事務・販売」が上回る結果となった。

業態別では、「事務・販売」「技術・生産」とともに全ての学歴で非製造業が製造業を上回った。業態間の金額の差においては、特に「事務・販売」では、短大卒で12,115円（製造業<非製造業）、「技術・生産」の短大卒で9,823円（製造業<非製造業）の差がみられた。

全体として、企業規模・業種によって確定金額のばらつきはあるが、ほとんどの事業所が前年金額を据え置く結果となった。

〔 1 - 1 表 〕 初任給額(全業種)

	事務・販売従事			技術・生産従事		
	大学卒	短大卒	高校卒	大学卒	短大卒	高校卒
平成 2 3 年の 確定初任給	197,640 円	177,776 円	163,049 円	200,161 円	179,434 円	165,550 円
平成 2 4 年の 見込初任給	197,184 円	179,588 円	162,719 円	198,870 円	179,304 円	165,327 円

〔 1 - 2 表 〕 初任給額(製造業)

	事務・販売従事			技術・生産従事		
	大学卒	短大卒	高校卒	大学卒	短大卒	高校卒
平成 2 3 年の 確定初任給	198,287 円	172,686 円	161,583 円	200,508 円	174,677 円	164,563 円
平成 2 4 年の 見込初任給	195,907 円	170,633 円	161,223 円	196,409 円	173,779 円	163,983 円

〔 1 - 3 表 〕 初任給額(非製造業)

	事務・販売従事			技術・生産従事		
	大学卒	短大卒	高校卒	大学卒	短大卒	高校卒
平成 2 3 年の 確定初任給	196,928 円	180,517 円	164,882 円	199,616 円	185,247 円	168,421 円
平成 2 4 年の 見込初任給	198,230 円	182,748 円	164,465 円	202,658 円	183,602 円	168,958 円

2 . 従業員の採用について

約 6 割の事業所で、既卒者を含め 2 3 年 4 月以降に正社員を採用

2 3 年 4 月以降に入社の正社員の採用状況の結果は、〔 2 - 1 図 〕のように、「採用なし」が 4 1 %、「学卒者のみ採用」が 2 4 %、「学卒者と既卒者の両方を採用」が 1 8 %、「既卒者のみ採用」が 1 7 %であった。既卒者のみを含め約 6 割の事業所で 2 3 年 4 月以降に正社員を採用した結果であった。

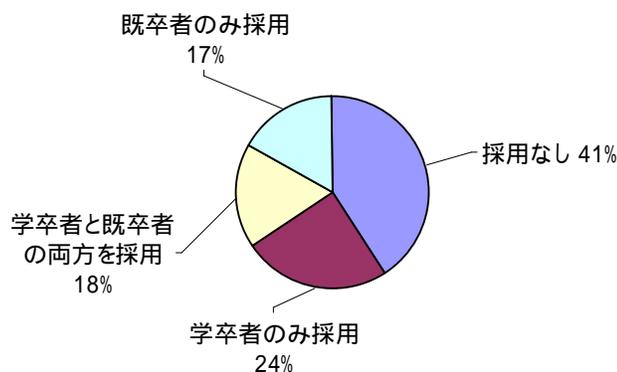
半数を超える事業所で 2 4 年春学卒者の採用予定なし

2 4 年春学卒者の内定状況の結果は、〔 2 - 2 図 〕のように「予定数分内定

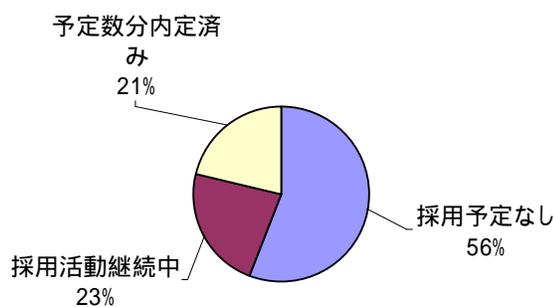
済み」が21%、「採用活動継続中」が23%、「採用予定なし」が56%で、半数を超える事業所で24年春学卒者の採用予定なしという結果となった。

また、「採用活動継続中」と回答いただいた事業所で、回答日現在募集中の学生の学歴は「四大卒」が24事業所、「高校卒」が8事業所、「短大卒」が7事業所、「その他」が5事業所という結果であった。

〔2-1図〕23年4月以降採用の正社員の採用状況



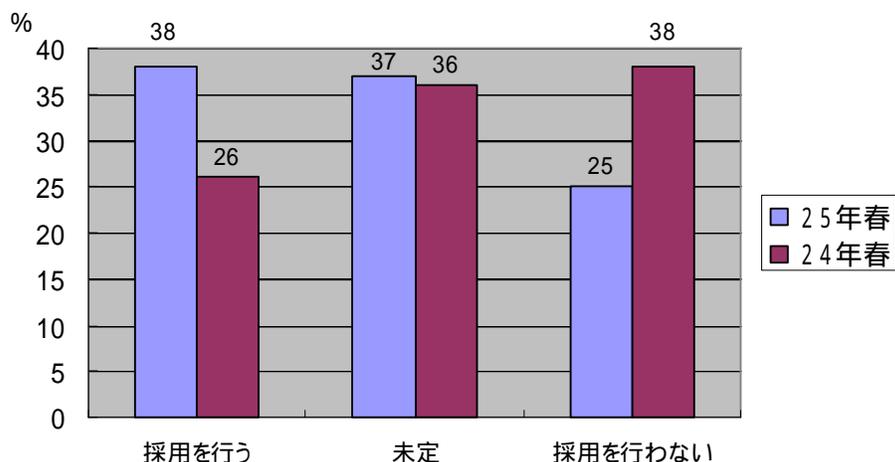
〔2-2図〕24年春学卒者の内定状況



約4割の事業所で、25年春学卒者の採用を計画

25年春学卒者の採用活動については、〔2-3図〕のように、「採用活動を行う」が38%（対前年+12ポイント）、次いで「未定」が37%と高く、反対に「採用活動を行わない」が25%（対前年-13ポイント）という結果となり、企業の雇用環境がゆるやかに改善の方向に向かっていると推測される。

〔 2 - 3 図 〕 今後（ 25 年春学卒者 ） の採用活動について

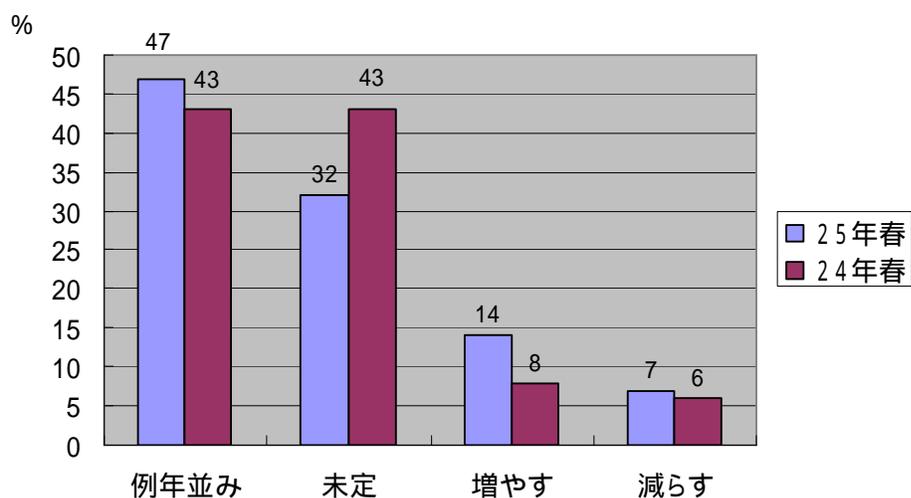


今後の採用人数は「例年並み」が約半数、採用時期は「例年並み」が約7割

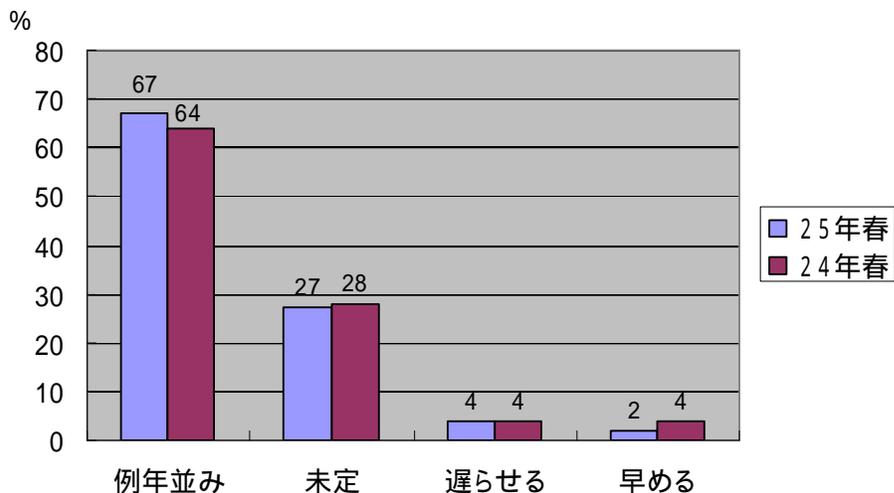
25年春学卒者の採用計画については、前年と比較し採用人数は、「例年並み」が47%、「未定」が32%、「増やす」が14%となっており、「減らす」と回答した事業所は7%と、引き続き各社採用を控える傾向が続くものの、一部では採用意欲のある企業の割合も増える結果となった。

また、採用時期については、「例年並み」が67%、「未定」が27%、「遅らせる」が4%、「早める」が2%と、前年とほぼ同じ時期に採用活動を行う予定の事業所が約7割を占めた。

〔 2 - 4 図 〕 具体的な採用計画について（採用人数）



〔 2 - 5 図 〕 具体的な採用計画について（採用時期）



「現状の従業員で対応できる」「景気の先行きが不透明のため」と回答した事業所が大半を占めた

業所が大半を占めた

25年春学卒者の採用活動を行わないと回答した事業所に対し、その理由を調査したところ「現状の従業員で対応できるため」と回答した事業所がもっとも多く23事業所、次いで「景気の先行きが不透明のため」と回答したのが17事業所、「既卒者のみ採用のため」が5事業所、「取引先の業績悪化により事業を縮小したため」が1事業所という結果であった。

〔 2 - 6 図 〕 採用活動を行わない理由について〔複数回答可〕

回答数

